

令和5年度 第4回 伊佐見小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年2月15日（木） 9時00分から11時20分まで
- 2 開催場所 伊佐見小学校 会議室
- 3 出席委員 安間 謙治、池野 浩司、市川 光自、伊代田 尚志（学校支援コーディネーター兼任）、小粥 裕里、小出 英徳、嶋野 直輝、高橋 由佳子、塚本 昌代、中村 勝信
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 伊佐見協働センター
- 6 学校支援コーディネーター 村上 久美子
- 7 学 校 芦田 康宏（校長）、米山 由紀子（教頭）、長尾 夏未（教務主任）、澤木 美加（CS担当教諭）、間瀬 仁美（CSディレクター）
- 8 教育委員会 なし
- 9 傍 聴 者 なし
- 10 会議録作成者 CSディレクター 間瀬 仁美
- 11 議長の選出

議長は事前に決定していたとおり、伊代田委員が務めることを確認した。

12 協議事項

- （1）令和6年度の伊佐見小の教育構想について
- （2）令和6年度の学校教育計画について
- （3）令和5年度の学校運営協議会の評価について
- （4）令和6年度の学校運営協議会の取組について

13 会議記録

会議に先立ち、各自、教室を回り、授業を参観した。

委員総数10人全員の出席により、会議の成立となった。

（1）令和6年度の伊佐見小の教育構想について

芦田校長より、「令和6年度浜松市立伊佐見小学校ランドデザイン」を参照しながら、教育構想についての説明があった。委員からは以下の発言があった。

・「子供が来なくなる学校、職員が働きたくなる学校」という話があったが、その通りで、先生が楽しく働けることが一番。（市川委員）

（2）令和6年度の学校教育計画について

各学年主任より、本年度の学校運営協議会との連携・ボランティアの協力についての報告と、来年度の連携・協力希望についての説明があった。委員からは以下の発言があった。

・新規の活動をどのように実施しようと考えているのか。人材が埋もれることがないよう、幅広く声を掛けてほしい。（安間委員）

・ボランティアは、学校からやりたいことを伝えられたコーディネーターが、個別に声を掛けている。皆さんからも人材の情報をもらえれば、地域との連携につながる。（伊代田委員）

・今回のように先生から具体的に声を上げてくれるのは助かる。（村上コーディネーター）

・先生の負担が軽減するよう、やりたいことを相談してほしい。（伊代田委員）

熟議の後、令和6年度の伊佐見小の教育構想について全会一致で承認した。

(3) 令和5年度の学校運営協議会の評価について

米山教頭より、本年度の自己評価について説明があった。委員からは以下の発言があった。

- ・CSだよりはこれから「さくら連絡網」で発信するのか。(安間委員)
→現在、CSだよりも含め、お便りのデジタル化を進めている。地域へは引き続き回覧板で発信する。(学校からの回答)
- ・情報については、町内会や自治会・PTA等でも発信している。(中村委員)
- ・子供はお便りをなかなか出さないなので、デジタル化はありがたい。(高橋委員)
- ・学校運営協議会で協議したことを各自持ち帰って、地域の人に周知しなければいけない。(伊代田委員)
- ・安全町づくりの仕事をしているが、交通安全についてはPTA、生活安全については我々と分担している。CSも得意分野を整理したほうがいいかもしれない。(中村委員)

(4) 令和6年度の学校運営協議会の取組について

米山教頭より、来年度の学校運営協議会のスケジュール、協議会のもち方について説明があった。委員からは以下の発言があった。

- ・150周年記念行事の予算はどこから出るのか。(安間委員)
→PTA会費から積み立てをしている。(学校からの回答)
- ・地域に多くの卒業生がいるので、クラウドファンディングなどで寄付を募ってもよいのでは。(中村委員)
- ・150周年記念行事の主催者は誰か。(伊代田委員)
→学校が主催する。(学校からの回答)
- ・学校がお金を扱うのは難しいので実行委員会を作ってもよいのではないか。(中村委員)
- ・水車小屋の手入れを。(中村委員)
- ・草取りなど、いつでも自分の都合の良い時に来てできるボランティアを。(高橋委員)
- ・ボランティアは、いつも同じ人というように偏っていないか。参加することで理解も深まるので、広く門戸を開いてほしい。(小粥委員)
- ・一度参加した人には友人を連れてきてほしい。本の修理のように誰でもできるボランティアも用意していきたい。(村上委員)
- ・交通手段がないお年寄りもいるので、本の修理などは届けて回収したらどうか。(安間委員)

その他連絡事項

米山教頭から、本年度の「夢をはぐくむ事業」についての報告があった。

村上コーディネーターから、ボランティアの活動報告があった。